

平成 15 年 1 月 10 日

各 位

資産管理サービス信託銀行株式会社

**『包括的有価証券アウトソーシング・サービスの開始』ならびに
『証券決済制度改革に対応した新決済系システムの稼働』について**

みずほフィナンシャルグループの資産管理サービス信託銀行（TCSB、社長：小寺 正之）は、平成 13 年 1 月の営業開始以来、生損保・地銀・事業会社等大手機関投資家の保有する国内外の有価証券の保管・決済等のカストディ業務を行ってまいりましたが、今般、生保固有の有価証券運用に係るバックオフィス事務（計理事務、帳票作成等）を含む包括的な有価証券管理に係わるアウトソーシング・サービスを提供できるシステム・業務体制を構築し、平成 15 年 1 月 6 日より業務を開始いたしました。

今回立上げましたサービスの業務モデルは、生保各社が個別性の高い業務体制を有することから従来図られていなかった計理事務を含む資産管理事務の包括的な外部委託化を、新たなシステム・インターフェイス機能の開発などにより、この様な個社ニーズへの対応を含め可能としたものです。

また、TCSB ではこのアウトソーシング・サービスの開始に先立ち、証券決済制度改革（有価証券の約定日翌日決済いわゆる T+1 等）に対応したシステムインフラの整備を完了し、国内外の有価証券の決済を STP（ストレート・スルー・プロセッシング）により処理するシステムを既に稼働させております。

TCSB では、この最新鋭のシステム基盤を活用した『包括的有価証券アウトソーシング・サービス』のリリースを契機に、他の大手機関投資家の皆様に対しましても、有価証券管理の全面的な外部委託化を含む各種ソリューションのご提案・提供を更に積極的に行ってまいりたいと考えております。

以 上

〔本件お問い合わせ先〕

資産管理サービス信託銀行株式会社

総合企画部 山本・小河原 03-6220-4001

包括的有価証券アウトソーシングサービスと業務基盤システム

【別紙】

